

創る

Miyagi of Architect
Office Association

宮事協

vol. **30**
2016

- 特集 「仙台市地下鉄東西線」
- 震災から5年～



一般社団法人 宮城県建築士事務所協会



建築士事務所憲章

建築士事務所は、建築や環境が文化の形成に占める重要な意味を認識し、社会の健全な進歩と発展に寄与します。

- 誠意をもって設計と監理の業務を遂行し、建築主の期待に応えます。
- 健康で快適な生活環境の創造と、安全安心、持続可能で良質な資産の形成を図ります。
- 自己研鑽を怠らず、職業倫理を高め、法令遵守と公益の立場に立って最善を尽します。
- 設計意図の理解を施工者に求め、公正に工事を監理します。
- 互いに信頼を深め、連帯の精神をもって職務を全うします。

平成20年5月

社団法人 日本建築士事務所協会連合会
社団法人 宮城県建築士事務所協会

巻頭挨拶 (会長・栗原憲昭)	2
発刊によせて (宮城県知事・村井嘉浩)	3
東西線開業を契機とした沿線のまちづくり (仙台市長・奥山恵美子)	4
特集『仙台市地下鉄東西線』	5
協会事業について	13
建築未来賞	15
支部だより「各支部の震災五年のまとめ」	18
青年部会だより	23
女性部会だより	23
みやじ連だより	25
賛助会だより	28
親睦交流	29
写真で見る宮事協	34
建賠保険について	45
定期講習の受講	46
会員コラム	47
事務局 memo	48
編集後記	



○会長プロフィール

- ・氏名
栗原憲昭（くりはらのりあき）
- ・生年月日
昭和22年9月10日
- ・出身地
宮城県
- ・略歴
80年遠藤盛建築設計事務所（現盛総合設計）社長に就任。98年本協会副会長、02年からは会長代行を勤め、06年に会長に就任。宮城県建築振興協会会長、宮城県建設工業紛争審査会委員、仙台地方裁判所及び仙台簡易裁判所民事調停委員・司法委員・専門委員、東北経済倶楽部マジック親交会会長。

地下鉄東西線と いえ・まちの未来に向けて

一般社団法人 宮城県建築士事務所協会

会長 栗原憲昭

東日本大震災の発災から5年が経

過し、会員の皆さんにとつてこの5年間は公共・民間の依頼を問わず、また住宅・非住宅を問わず建築復興に多大な貢献された5年間であったことに深く敬意を表する次第です。

沿岸地域の建築・まちづくり復興はこれからで一層の活躍を期待しております。

昨年の12月6日地下鉄東西線が、太白区の八木山動物公園駅から若林区の新井駅までの13・9キロ間13駅

で開業しました。

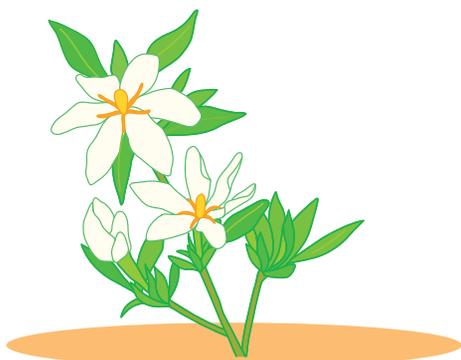
先に開業した地下鉄南北線は、仙台市泉区の泉中央副都心の泉中央駅から、北仙台、仙台市都心部、長町副都心を通つて、太白区の富沢に至る路線で、泉中央周辺と長町駅周辺のまちづくりに大きな役割を果たしてきたことは周知のとおりです。泉中央の街風情とあすと長町を中心の街風情は、大型文化施設とともに大型ショッピングモール群が軒を連ね、仙台駅中央部を軸に泉中央と長

町の南北がヤジロベイのようなバランスで仙台の街づくりの象徴として成長してきました。

仙台市は東西線沿線のまちづくりの目標として、①公共交通機関を軸とした快適で便利なまちづくり、②中枢都市としての様々な機能が交流するまちづくり、③次の世代へ受け継がれる人や環境にやさしいまちづくり、④市民と行政の協働によるまちづくりと4つの指針を提唱して、沿線地域の特色、個性を生かしたま

ちづくりを市民と共に行いたいということですが。

東西線沿線の街づくりは、南北線駅周辺と変わったまちづくりが期待されます。13駅周辺それぞれの文化や風土・風情にあった個性的な新しいまちづくりとして、震災復興の画竜点睛となることでしょうし、「木といえ・木のまち」が調和した新しい東北の中心都市仙台東西線沿線のまちづくりが始まり、建築士事務所が貢献する機会であり皆様の活躍を期待しています。





「発刊に寄せて」

○宮城県知事プロフィール

- ・氏名
村井嘉浩（むらいよしひろ）
- ・生年月日
昭和35年8月20日
- ・出身地
大阪府
- ・略歴
昭和59年3月
防衛大学校（理工学専攻）卒業
昭和59年4月
陸上自衛官任官
昭和59年9月
陸上自衛隊東北方面航空隊配属
平成4年4月
財団法人松下政経塾入塾
平成7年4月
宮城県議会議員（3期）
平成17年11月
宮城県知事
- ・趣味
茶道、水泳

宮城県知事 村井嘉浩

東日本大震災の発生から5年の歳

月が経過しました。この間、宮城県

では、貴協会をはじめ、国や全国の

自治体など、多くの方々から多大な

御支援のもと、県民の安全・安心

の確保、生活基盤や公共施設の復旧、

産業活動の再開に向けた支援など、

全力で復旧・復興に向けて取り組ん

でまいりました。これまで多くの御

支援をいただいた皆様方に深く感謝

申し上げます。

平成23年10月に策定した「宮城県

震災復興計画」におきましては、平

成28年度は「再生期」の3年目に当

たります。「再生期」では、「迅速な

震災復興」、「産業経済の安定的な成

長」、「安心して暮らせる宮城」、「美

しく安全な県土の形成」を政策推進

の基本として、復旧・復興に向けた

施策に最優先で取り組むとともに、

人口減少対策や地域経済の活性化

策、地方分権型社会の実現など地方

創生の取組も併せて推進してまいり

ます。

貴協会におかれましては、発災当

初から、被災建築物応急危険度判定

活動や住宅相談などに御協力をいた

だきますとともに、みやぎ復興住宅

整備推進会議の構成員として住宅再

建に向けた「復興住宅マッチングサ

ポート事業」や指定事務所登録機関

として建築士事務所の登録事務、開

設者に対する指導を行っていた、たく

など、多方面から本県の建築物の復

旧・復興に極めて大きな役割を果た

していただき、感謝の念に堪えませ

急仮設住宅などで不自由な生活を余儀なくされているなど、復旧・復興はまだ道半ばではありますが、本県が、震災前の状態に戻る「復旧」にとどまらない「創造的復興」を成し遂げ、「生まれてよかった、育つてよかった、住んでよかった」と思える宮城県を県民の皆様とともに築き上げてまいりたいと考えておりますので、皆様方の一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。





○仙台市長プロフィール

- ・氏名
奥山恵美子（おくやまえみこ）
- ・生年月日
昭和26年6月23日
- ・出身地
秋田県秋田市
- ・略歴
昭和50年4月 仙台市職員に採用、平成5年4月 市民局生活文化部女性企画課長、平成13年4月 教育局生涯学習部参事（財団法人仙台ひと・まち交流財団メディアテーク館長）、平成15年4月 市民局次長、平成17年4月 仙台市教育委員会教育長、平成19年4月 仙台市副市長（～平成21年3月）、平成21年8月 第33代仙台市長（1期目）、平成25年8月 2期目就任
- ・座右の銘
笑う門には福来たる
- ・趣味
家族・友人たちとの食べ歩き、美術館めぐり、山歩き

「東西線開業を契機とした沿線のまちづくり」

仙台市長 奥山 恵美子

仙台市は、人口減少時代の到来など様々な行政課題に対処するため、都心や拠点、都市軸に都市機能を集積する機能集約型の市街地形成を進めています。併せて、都心を中心に放射状に延びる鉄道にバスが結節する総合交通体系の構築を進めることで、市民誰もが、さまざまな場所に鉄道やバスを利用して手軽に訪れることができる快適な生活環境の実現を図っています。

東西線は、八木山団地から、青葉山・広瀬川、都心部、東部産業地域

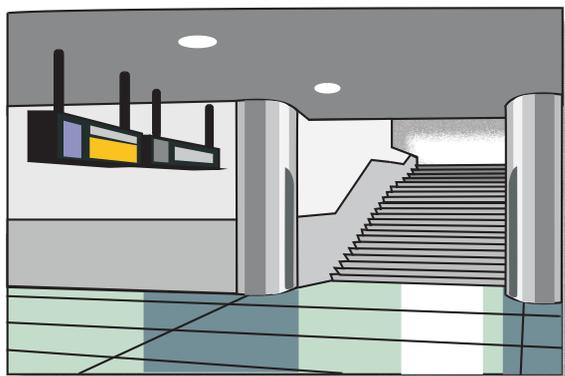
を貫き、太平洋を臨む荒井までを通る2路線目の地下鉄で、本市の交通体系を支える重要な骨格交通です。東西の起点駅をわずか26分で結び、また仙台駅で乗り継ぐことで、東西線各駅から南北線のどの駅にも35分以内で移動できます。両起点駅に駅前広場とパーク&ライド駐車場を、薬師堂駅には駅前広場をそれぞれ整備し、バスや自動車からの乗換えも大変便利です。

更に沿線には、魅力的な地域資源が数多く存在し、それらを市民、事

業者の皆さまとの連携、協力のもと、積極的に活用することにより、これまでにはない、新たな賑わい創出に向けた取り組みも始まっており、国際センター新展示棟や交流広場整備、仙台駅前広場、東西自由通路再整備といった本市事業の他、JR東日本の仙台駅東口ビル整備や東北大学の新キャンパス整備などは、構想段階から事業者等との連携を図ることで、沿線にふさわしい開発として事業が進められております。

南北線とあわせ、完成した十文字

型の骨格交通体系を活かした人に優しく暮らしやすいまちづくりを進めていくとともに、東西線沿線の魅力的な地域資源を様々な方々と連携し有機的に結び付けることで、東西線を中心とした賑わいや活力、新たな価値の創造・発信を進めることにより、人を引きつけ、躍動するまち、「ひとが輝く杜の都・仙台」を築き上げてまいります。





地下鉄の開業を考える

都市の新陳代謝を促す

「地下鉄東西線」

時代の流れに対して、都市は新陳代謝を行なって来ました。街のなかの移動手段は、かつては、歩く、馬、船などでしたが現在は車が主体となり、それにより郊外への街の拡大が続いてきました。都市の中心部から住民が外周部に移動していくようになって、かつて人の多く住んでいた都市の中心部は人口の空洞化がおきてきました。車社会になる前から多くの人が住んでいた地域は、道路の拡幅が難しく、人が住みやすい環境とはいえなくなってきました。そういった場所は、わりと中心部に近いにもかかわらず、新しい建物も建たず、ゆっくりと衰退していくように感じられました。

今回、仙台市地下鉄東西線の開業により、そういった地域に新たな変化が起こったと考えています。車が無くても生活に不便がない地域が大幅に広がって土日に渋滞を抜け、郊外のショッピングセンターに行くよりも都市の中心部に買い物に行くほうが楽になりました。そのことにより沿線の住宅地の建替だけでなく、中心部の商業地区にも変化が発生していくことになっていくと考えられます。

我々建築設計者はその変化に関与し、都市の新陳代謝のために、これから活躍していく舞台が整ったと考えています。

地下鉄駅を廻り終えて

朝から夕方にかけてすべての駅で降り、いろいろ感じたことです。

学生と老人が多いです。自動車が普及している現在、それを使えない交通弱者は学生と老人だと思いました。

土日に動物園に行くときに、駐車場を心配するよりも地下鉄を使った。

東北大がよい環境になったと思う学生が通学しやすいだけでなく住む範囲が広がり、学校から街中に出やすくなった。

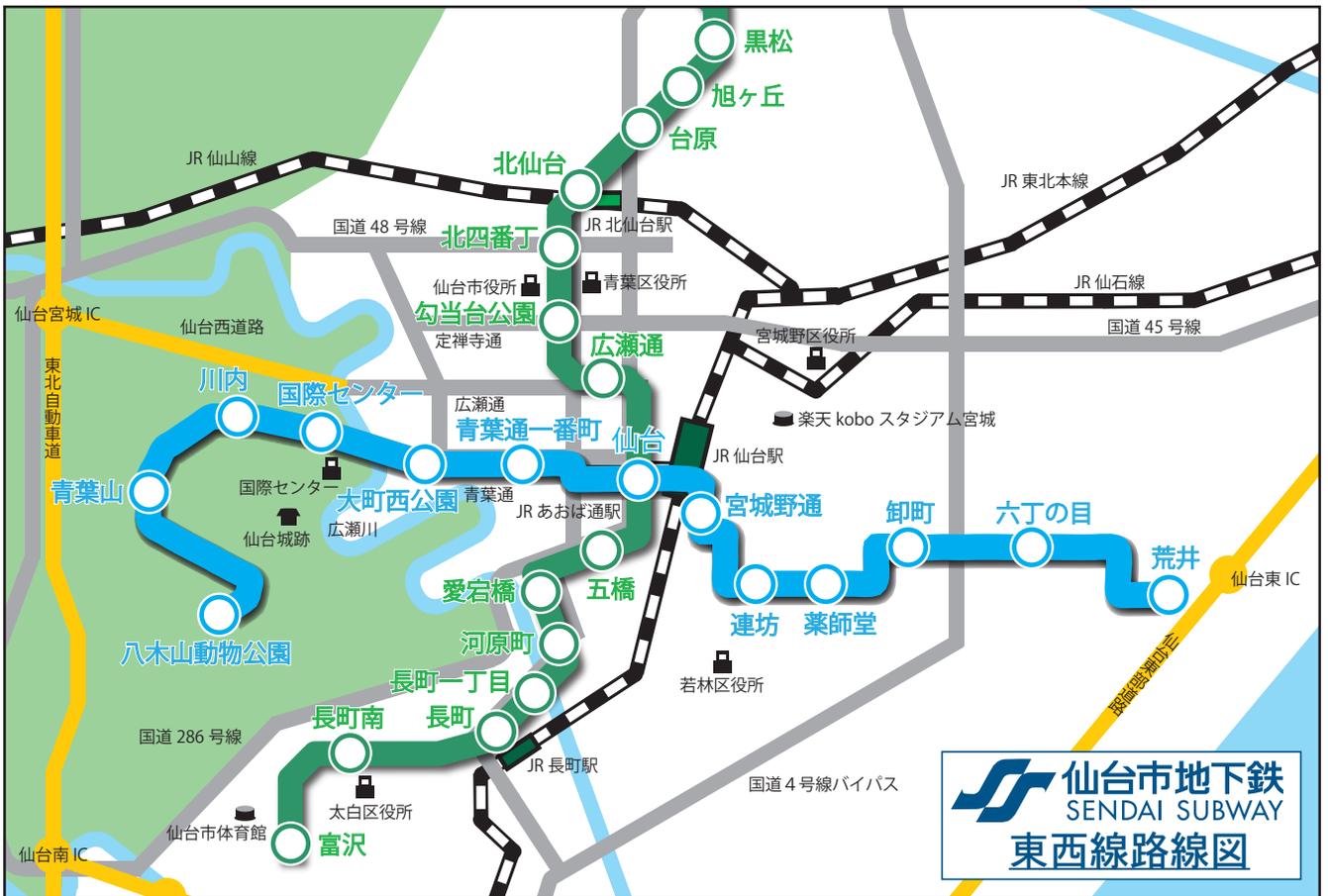
国際センター周辺の土地がまだあるので、今後ますますの整備を期待したい。

西公園駅から広瀬側までを整備して市民の憩いの場にしてほしい。

卸町より西の地域の発展に期待したい。

荒井駅の保育園の併設はすばらしいと思います。

車が無くても催し物や文化的な施設が利用できる、文化的生活を営むことができる地域が広がったと感じられる。



仙台市地下鉄 SENDAI SUBWAY 東西線路線図



駐車場があり、土日は動物園の入場者
平日はパーク アンド ライトとして使われる



日本一標高の高い地下鉄駅
遠くに太平洋を眺めることができる

T
01

八木山動物公園駅



エレベータで屋上まで上がると
駐車場の上の広場から動物園に入場できる



床にある動物の絵に誘導され歩いていくと
動物園へ向かうエレベータにたどり着く



今後も新しい建物が建設されるでしょう

T
02

青葉山駅



広大な敷地

株市場建築構造
設計事務所

代表取締役 市場 芳男

仙台市太白区鹿野 1-1-3

☎ 022-247-5080 FAX 022-247-1877

URL : <http://www.ichibakozo.sakura.ne.jp/>
E-mail : ichibakozo@jewel.ocn.ne.jp

株石巻設計
センター

代表取締役 齋藤 浩喜

石巻市蛇田字新丸井戸 39-1

☎ 0225-94-2490 FAX 0225-94-2747

株阿部和工務店

代表取締役 船山 克也

仙台市青葉区上杉 1-17-18 銅谷ビル

☎ 022-264-0411 FAX 022-225-5244

URL : <http://www.abekazu.co.jp>
E-mail : info@abekazu.co.jp



日中はほとんど人がいない

T
03

川内
駅



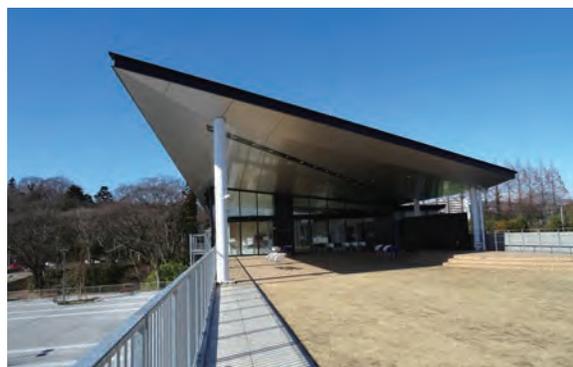
東北大学へ行くための駅



地上駅で広く作られている
今後の周辺の開発後も使いやすいそう

T
04

国際
センター
駅



屋上広場



屋上から広瀬川を渡る車両が見える



広い吹き抜け

(株) 技 工 一 級
建 築 士 事 務 所

代表取締役 関口 幸平

仙台市泉区八乙女 4-18-6

☎ 022-375-6004 FAX 022-374-0381

URL : <http://www.k-gikou.com/>
E-mail : info@k-gikou.com

(有)環境デザイン
工 房

代表取締役 秋山 哲也

名取市大手町 4-1-4

☎ 022-382-9172 FAX 022-383-5159

E-mail : kankyo@rf7.so-net.ne.jp

(株) 鎌 田 建 築
設 計 事 務 所

代表取締役 鎌田 孝一

多賀城市大代 4-15-19

☎ 022-365-7762 FAX 022-369-3013

E-mail : sjkamata@eagle.ocn.ne.jp



公園はまだ整備中、今後に期待したい

T
05

大町西公園駅



公園の中に入り口が出来た



入り口は目立たない

T
06

青葉通一番町駅



街中の入口の雰囲気が出ている



藤崎デパートへの直通出口



日中は学生と高齢者の乗降が多い

(株) 群 建 築
設 計 事 務 所

代表取締役 菊地 啓司

仙台市太白区鹿野 2-15-12

☎ 022-248-7781 FAX 022-248-7721

E-mail : kikuchi@gun-archi.co.jp

(株)クマケー建設
一級建築士事務所

代表取締役 熊谷敬一郎

気仙沼市古町 1-4-10

☎ 0226-23-2223 FAX 0226-23-7507

URL : <http://www.kumakei-kensetsu.co.jp/>
E-mail : info@kumakei-kensetsu.co.jp

(株) 楠 山 設 計

代表取締役 島田 俊雄

仙台市青葉区一番町 3 丁目 3-16
オー・エックス芭蕉の辻ビル

☎ 022-224-1207 FAX 022-215-4282

URL : <http://kusuyama-arc.co.jp>
E-mail : tshimada@kusuyama-arc.co.jp



南町通りの出口が完成

T
07

仙台駅



既存の地下街と複雑につながる



あんパンマンミュージアムへ床タイルで誘導

T
08

宮城野通駅



目立たない駅舎



今後の発展が期待出来る大通り



近くには昔からの寺町

(株) COS 設 計

代表取締役 川口 裕子

仙台市宮城野区榴岡 4-13-1
サン・アドバンスビル 4F

☎ 022-256-2139 FAX 022-299-5855

E-mail : cos-yuk@vmail.plala.or.jp

(株) 構 建 築
設 計 事 務 所

代表取締役 徳田 伸治
千葉 清純 早坂 陽

仙台市青葉区上杉 2-4-46

☎ 022-262-3301 FAX 022-222-3440

URL : <http://kosekkei.sakura.ne.jp>

(株) 気仙沼工務店
一級建築士事務所

代表取締役 佐藤 良昭

仙台市泉区鶴が丘 4 丁目 2-15

☎ 022-372-1020 FAX 022-372-1093

URL : <http://kesennumakoumuten.com/>
E-mail : kesenuma@celery.ocn.ne.jp



自転車置き場が作られていた

T
09

連
坊
駅



高校のために作られたようなイメージ



薬師堂の広々した敷地

T
10

薬
師
堂
駅



バスプールがある



大通りに面している

T
11

卸
町
駅



昼間の乗り降りの人はほとんどいない

株 集 建 築
設 計 事 務 所

代表取締役 佐藤 孝志

仙台市青葉区二日町 16-20
二日町ホームプラザビル 512

☎ 022-263-5577 FAX 022-263-5591

URL : <http://www016.upp.so-net.ne.jp/shu/>
E-mail : kk-shu@cf6.so-net.ne.jp

株 櫻 田 建 築
設 計 事 務 所

代表取締役 佐々木昌喜

仙台市若林区新寺一丁目 6-8-309

☎ 022-349-9791 FAX 022-298-5751

URL : <http://sakurada-archi.co.jp/>
E-mail : info@sakurada-archi.co.jp

株 盛 総 合 設 計

代表取締役 栗原 憲昭

仙台市青葉区上杉 3-3-16

☎ 022-222-6887 FAX 022-224-2397

URL : <http://www.sakari.co.jp>
E-mail : sakari@sakari.co.jp



車の通りが多いが人は少ない

T
12

六丁の目駅



地下鉄の入り口とは思えないような外見



建物が大きい

T
13

荒井駅



廻りは空地



屋上の一部は併設される保育園の庭



建物には市の施設が入る

(株) 図 設 計

代表取締役 高橋 亨次

仙台市泉区虹の丘 1-4-5

☎ 022-372-7776 FAX 022-373-6991

E-mail : zu_1@sea.plala.or.jp

(株)菅原吉男工務店

代表取締役 菅原 吉男

仙台市太白区郡山 4-15-24

☎ 022-246-0666 FAX 022-249-3660

E-mail : sugawara-kk@lapis.plala.or.jp

(株)白鳥建築
構造事務所

代表取締役 白鳥 行則

仙台市太白区鹿野 2-4-25-516

☎ 022-247-9960 FAX 022-247-9186

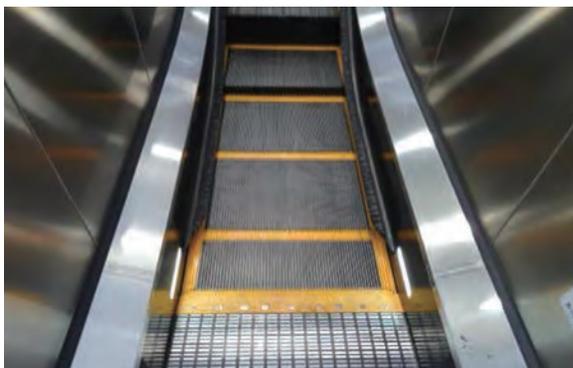
E-mail : shiratori@k6.dion.ne.jp



仙台の交通地図が掲示されていた



公衆電話は白



エスカレーターに巻き込み防止用ブラシ
有る駅と無い駅がある

その他



入り口になにか付いている



近づくと



洪水対策用の板が出てくるようです

(有) 高橋建築
設計事務所

代表取締役 高橋 清秋

仙台市泉区長命ヶ丘 3-31-17

☎ 022-378-3246 FAX 022-378-3769

URL : <http://www.tsekei.jp/>
E-mail : tsekei@jcom.home.ne.jp

装建工業(株)

代表取締役 佐藤 雅友

仙台市宮城野区榴岡 4-12-23

☎ 022-295-2121 FAX 022-299-6039

URL : masatomo@bb.wakwak.com

(株)関・空間設計

代表取締役社長 渡邊 宏

仙台市青葉区本町 2-1-8

☎ 022-398-9161 FAX 022-398-9162

URL : <http://www.sopnet.co.jp>
E-mail : seki-kukan@sopnet.co.jp

「みんなの木材資料館」建築事業

この事業は、本会が宮城県林業振興課を通じて行われた、林野庁の平成26年度森林整備林業再生事業のうち「新規用途導入促進事業」の補助を受けて、名取市の土地を無償借用して「宮城県産材の普及拡大」を目的に建築を行ったものです。

この木材資料館は、住宅等の小規模建築にも新しい木質材料であるCLTとLVL材の活用を提案したもので、県産材のPRと閑上地区の復興住宅モデルを兼ねた目的で実施し、よりPR効果を得るために常設の名取市閑上公民館として使用されています。

この建築では従来型の軸組み工法に比べ、耐震性能、断熱、工期の短縮等に効果的であることが報告されています。

宮城県内のスギをはじめとする人工林は、過去最大の利用時期を迎えており、これらの豊富な資源を背景に、より多くの県産材の利用を進め、地球温暖化対策の推進や地域産業の

活性化を図る必要があります。

こうした中、政府の新成長戦略に位置づけられているCLT（直交集成板）や宮城県内で製造されるLVL（単板積層材）などは新たな建築資材として木材需要拡大に大きく寄与することが期待されています。

①CLT（直交集成板）

特徴

建築材料としてのメリットは、寸法安定性の高さ、厚みのある製品であることから高い断熱・遮音・耐火性を持つこと、また、持続可能な木質資源を利用していることによる環境性能の高さなどが挙げられます。

CLTパネルを用いた構法は、プレハブ化や接合具のシンプルさなどによる施工性の速さや、RC造などと比べた場合の軽量性も大きな魅力です。

RC造などに比べ素材が軽く構造もシンプルなため、3階建ての建物

なら1日で建て上げることができま
す。振動実験で3階建ての建物に震
度6弱の力を30分ほど加えても損傷
しなかったという強度も大きな特徴
です。

活用事例

活用事例

14年3月に高知県大豊町でCLT

による3階建て共同住宅が初めて竣
工し、東北でも15年3月に福島県湯
川村で2階建て共同住宅が完成しま
した。

宮城県名取市に完成した「みんな
の木材資料館」は東北で数少ないモ
デル施設の一つです。ここでは床や
天井にスギのCLTを使用していま
す。



▶2階の床

② LVL（単板積層材）

特徴

合板と同じような製造工程です。乾燥単板を使うことで含水率が均一化され、同時に節などの欠点部分も分散されるため、寸法の安定性と精度に優れた製品が生まれます。乾燥単板の使用、縦継ぎ部の分散化、積層による欠点部分の分散化などが行われるため、製品の強度などにバラツキが少なくなり、安定した品質が保証されます。また、単板を縦方向につなぎながら積層・接着することで、長尺の製品を造ることができ、ほか、単板の積層数を調整することにより、用途に応じた厚さのLVLを製造することが出来ます。

活用事例

安定した強度と自由な寸法を提供できるため、一戸建て住宅や共同住宅を問わず、木造住宅全般の利用が増加しており、特に合理化システム認定の住宅やラーメン構造住宅の長期耐用性を重視する住宅などに多く採用されています。

住宅以外の建築物では校舎、体育館、博物館などの公共施設から、工場、倉庫店舗、レストランといった

産業施設まで幅広く活用されています。また、大型ドーム、室内競技場、コンサートホール、空港建造物など大型建築物に用いられる大断面構造

材としての利用も拡大しています。みんなの木材料館では強度の特性を生かし、長尺の「登り梁」に使用されています。



◀登り梁LVL



▶屋根CLT

(有)田畑会計事務所

代表取締役 田畑 英伍

仙台市青葉区本町二丁目 17-17

☎ 022-223-5441 FAX 022-224-5665

URL : <http://www.tabata-ac.co.jp/>
E-mail : info@tabata-ac.co.jp

一級建築士事務所 建物よろず相談室

本郷 誠

仙台市青葉区水の森 3-29-21-705

☎ 022-278-4360 FAX 022-278-4360

E-mail : mmehh@marble.ocn.ne.jp

タカラ工業(株)

代表取締役 加藤 良一

仙台市青葉区台原 1-3-20

☎ 022-234-4481 FAX 022-234-5171

E-mail : tkrkogyo@osk2.3web.ne.jp



はじめに
 平成23年の1月、未来賞実行委員会が招集され第17回建築未来賞のテーマを複数の案の中から『水辺のある空間』に決定した。役員会の承諾書を得る直前に3月11日となった。協会全員の脳裏から未来賞開催の文字は消えた。しかし創造への魅力、未来賞への思いは徐々に再燃、歴史の続く灯は消すことはできなかった。
 災害を受けた常連校でボランティア活動を行なっている生徒たちの夢、未来への願いが後押しをしたのだった。テーマを『災害に強い家、街づくり』と決まった。

2011 第17回 みやぎ建築未来賞

開催日／11月5日(土)～11月6日(日)
 場所／東北工業大学 一番町ロビー4F
 テーマ／災害に強い家、街づくり
 参加作品／高等学校の部 15作品 (内石巻工業高等学校10作品) 専門学校短期大学の部 4作品
 大賞／■高等学校の部『船望の家』宮城県工業高等学校インテリア科 高橋真梨子他6名
 コンセプト・漁業者の祖父のアドバイスで津波に強い家の形は船先にある
 ■専門学校短期大学の部『Next Stage-暮らしを変える-』県立仙台台高等技術専門学校建築製図科 阿部明日香他5名
 コンセプト・災害時における安心安全な街づくり



2012 第18回 みやぎ建築未来賞

開催日／11月2日(金)～11月3日(土)
 場所／アエル2F (アトリウム)
 テーマ／木造りで『山・里・海の建築』
 参加作品／高等学校の部 22作品 専門学校の部 2作品
 大賞／■高等学校の部『F.M.岩出山』宮城県石巻工業高等学校建築科 只野雄大 コンセプト・地域型FMスタジオと地域住民に開放できる木造りの施設
 ■専門学校短期大学の部『Milky Way』東北職業能力開発大学校 建築施工システム技術科 千葉香奈他1名
 コンセプト・仙北の里山に計画した木造の道の駅、特に夜空を楽しめる施設



ライブコンサート／11月3日(土)
 □みやじ連 阿波踊り □みやじつく魔術団マジックショー □Divo Divaシンガーズ
 ユニット □スコップ三味線 石巻スコップーズ □宮城県工業高等学校ダンス愛好会 □宮城県工業高等学校 吹奏楽部
 事前セミナー／6月11日(月)
 (宮城県建築設計会館3F)
 □地場産木材の利用状況について「木のはなし」東京大学名誉教授(木材博物館館長)岡野健氏 □加工木材の工法と活用株式会社キーテック 吉田智則氏



2013

第19回 みやぎ建築未来賞

開催日／10月29日(火)～11月2日(土)
 場所／東北電力グリーンプラザ1Fアクアホール
 テーマ／地域の商店街づくり(参加校先生方との事前意見交換会にて決定)
 参加作品／高等学校の部 15作品 専門学校短期大学の部 14作品
 大賞／■高等学校の部『日和山商店街』仙台市立仙台工業高等学校建築科 石橋輝智 コ



テーブルカット



会長挨拶



受賞者集合



高校生大賞



専門学校生大賞

コンセプト・小さい頃に遊んだ仙台湾に面した高台、日和山を利用した海の商店街
 ■専門学校短期大学の部 『水のある舞台と内包した参道商店街再生計画』東北文化学園専門学校建築科 平出慎太郎 コンセプト
 ・神社を見下ろす坂道 既存の商店街に中央に水路を引き、水上舞台水上憩いの場などの計画で、にぎわいのある参道商店街の再生

事前セミナー／6月14日(金)
 (宮城県建築設計会館3F)

□地域の商店街づくり「にぎわいと地域資源」東北工業大学ライフデザイン学部安全安心生活デザイン学科准教授 大沼正實氏
 □地域の商店街づくり「商店街ってなに？」(株)構建築設計事務所 千葉 清純氏



受講風景



大沼氏セミナー



受講風景



千葉氏セミナー

ライブコンサート／11月3日(土)

□津軽三味線 琴 □日本舞踊 □みやじく魔術団マジックショー □熊谷牧夫氏のギター弾き語り □宮城県工業高等学校ダンスパフォーマンス □特設場 岩手県久慈市出身イラストレーター 田村華子さんの作品展示会



日本舞踊



三味線、琴の演奏



会場観客



ダンスパフォーマンス

2014

第20回 みやぎ建築未来賞

開催日／11月7日(金)～11月8日(土)
 場所／アエル2F(アトリウム)
 テーマ／『木の活かし方』再生へ向かって・人と自然との調和
 参加作品／高等学校の部 18作品 専門学校短期大学の部 24作品

大賞／■高等学校の部『公園図書館』宮城県土川工業高等学校建築科 遠藤明希他1名 コンセプト・郊外に木樹に囲まれた自然刑図書館を計画
 ■専門学校短期大学の部『未来へ』石巻被災住宅地避難・伝承・追悼施設』東北電子専門学校建築CADデザイン科 白石大翔他5名 コンセプト・震災の記憶を忘れない追悼施設の中に木製のタワーを骨組みにした象徴施設

事前セミナー／5月14日(木)
 (宮城県建築設計会館3F) 『木の活かし方』再生へ向かって・人と自然との調和

□木の力を輝かせる 丸平木材株式会社 代表取締役 小野寺邦夫氏
 □木造建築の事例 株式会社盛総合設計 専務取締役 栗原将光氏



事前セミナー会場



会場風景



会長挨拶



テーブルカット



受賞者集合



専門学校生大賞



高校生大賞

ライブコンサート／11月8日(土)

□みやじく魔術団マジックショー
 □宮城県工業高等学校ダンス部
 □熊谷牧夫氏 ギター弾き語り



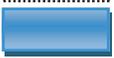
ダンスパフォーマンス



ギター弾き語り

第21回 みやぎ建築未来賞

開催日／11月6日(金)～11月7日(土)
 場所／仙台駅前アエル2Fアトリウム
 テーマ／『未来に向かって—こんな所に住んでみたい—』
 参加作品／高等学校の部25作品 専門学校短期大学の部10作品
 大賞／■高等学校の部『ミライ都市に残る人々のつながり』仙台市立仙台工業高等学校 建築科 後藤祐衣 他1名 コンセプト・未来
 ■専門学校短期大学の部『未来にチャレンジ！仙台南町通りシェアハウスと周辺地域のリノベーション』東北電子専門学校建築CAD科 仙道力也 他2名 コンセプト・街の路地にシェアハウスと解放されたリノベーション店舗ビルを合体させ、にぎわいを取り戻す明るい街づくり



事前セミナー／6月14日(金)
 (宮城県建築設計会館3F)
 『未来に向かって—こんな所に住んでみたい—』



□東北文化学園専門学校インテリア科 増田 学身氏
 □仙台市立仙台工業高等学校建築科 五十嵐 昭博氏

ライブコンサート／11月7日(土)
 □みやびつく魔術団マジックショー
 □宮城県工業高等学校ダンスパフォーマンス



□熊谷牧夫氏のギター弾き語り

仙台支部

仙台支部長 白鳥 行則

大震災から早いもので五年を過ぎ
てしまいました。震災の被害は海岸
線近くは勿論ですが、仙台中心部で
も多くの建物が被災しました。毎日
の生活もままならない日が長く続
き、そんな状況の中で事務所協会の
被災建物復旧再建相談の支援活動を
慌しく行っていたような気がしま
す。



また、被災した建物の復旧・改修
工事は一年目を過ぎたあたりから始
まり、あちこちで足場を組んだ建物
が見られました。昨年ぐらいいはそ
の姿も見られなくなったような気が
し、それとともになぜか町の活気も
薄らいだように感じられます。

海岸線では防波堤の工事が進み、
盛り土による地盤のかさ上げ工事が
終わり、やっと住宅の建設が始まる
うとしています。

仙台支部は、会員や役員の構成が
本部と重複しているために、これま
での活動を見ても本部に直結した内
容だったように思います。他の地域
会の支部と異なって独立した活動は
今後もあえて必要がないかも知れま
せんが、仙台支部の活動拠点が広い
と言う利点を生かし情報網を整備す
ることができれば「被災建築物応急
危険度判定士の迅速な派遣」「地震
災害時における避難所の応急危険度
判定に関する協定の迅速な対応」等
の活動は十分可能で社会的貢献がで
きるものと考えられます。

仙南支部

仙南支部長 秋山 哲也

仙南支部はとてもその範囲が広く
名取市以南、四市九町に及んでおり、

太平洋に面している自治体といない
自治体があることもあり、震災後の
復興状況や市民の暮らしぶりは大き
く違っているのが実情です。今回の
東日本大震災では、沿岸部の山元
町、亘理町、岩沼市、名取市の二市
二町が大きな被害を受けており、地
震のみの被害地域と比べて、震災後
の復興の道のりは険しいものがあり
ます。また、沿岸部の地域でも震災
前の沿岸部の土地利用環境や、被害
の状況などの違いで復興の経過・進
捗状況にも違いがあるなか、それぞ
れの自治体が、日本全国からの応援
を受けながら失われた町、インフラ、
地域経済そして生活の復興をめざし
て一生懸命奮闘している最中です。

建築士事務所協会の仙南支部の会員
も職能人として、我ふるさとの復興
のために、震災直後から応急危険度
判定や無料住宅相談会の参加はもと
より、住宅再建や工場・店舗・事務
所などの再建相談に乗り、地域の設
計事務所ならではの、被災した人た
ちに寄り添った仕事を展開し頑
張っております。

私が住んでいる名取市でも、仙台
空港周辺の北釜地区、下増田地区、
閑上港朝市で有名な閑上地区が津波
の被害を受け、住宅や工場、商店
そして名取耕土と呼ばれた肥沃な農
地が壊滅状態になりました。しか
し、名取市も官民一丸となって復興
に向けて頑張っており、昨年の3月

日新設計(株)

代表取締役 京谷 国雄

仙台市太白区山田字大石 42-4

☎ 022-245-2333 FAX 022-245-2341

E-mail : nissin-ae@nifty.com

(株)都市設計

代表取締役 氏家 淑子

仙台市青葉区国分町 2-8-14

☎ 022-225-0091 FAX 022-225-0190

URL : <http://toshi-arc-design.jp/>
E-mail : toshi@arc.design.co.jp

(有)千田総兵衛
建築事務所

代表取締役 千田 浩

仙台市青葉区一番町 1-13-20

☎ 022-224-0071 FAX 022-224-0068

E-mail : chida.arc@nifty.com

には下増田地区の被災した方々が住む下増田地区災害公営住宅が完成、今年7月には閑上地区に第1期の災害公営住宅が完成し、被災した人たちが新たな生活を始めることができていることになりました。名取市の場合には、戸建て災害復興住宅の建設は合計で350棟ほど計画されており、地元建設業者で組織した(一社)名取市復興公営住宅建設推進協議会が買い取り方式で建設する計画が進められております。この方式は地元の建設職組合の工務店・大工さんも参加しており、普段では官公庁の受注機会がない人たちが、ふるさと再建のための事業に参加しながら、技術研鑽、地域経済活性化に貢献しております。設計領域においても、名取市の事務所協会会員や建築士会の会員のみで構成されており、来るべき省エネ設計の義務化に先駆けて、施工時に生じている問題を、リアルにフィードバックさせる、かなり質の高い設計・監理手法を取り入れ業務をこなしております。

仙南地域の沿岸部はまだ復興半ばであり、500年に一度1000年に一度という未曾有の大震災によって受けた災害を克服していくには個人の問題として解決するにはあまりにも規模が大きく深刻です。先人がこのような困難に幾度となく見舞われ、そのたびに立ち上って今日の日本を築いたことを思うと、私たちは、共助の精神と歴史的な使命感をもって、自分の職能を生かしながら復興に臨み、後世の人たちに誇れるようなまちづくりをしていかなければならないと考えております。

石巻支部

石巻支部長 齋藤 浩喜

もう5年?まだ5年?あの日の未曾有の災害から5年がたちました。この5年を振り返ると、本当にあってという間の様な気がします。

震災翌日の朝、津波が襲った街の様子を目の当たりにし、正に「地獄絵だ!」二度と再生出来ないのではという絶望的な気持ちで一杯になったことを思い出します。

しかし、直後から全国からのいろいろな支援が始まり、私たちも、被災調査や応急危険度判定等に飛び回る日々が始まりました。

石巻市から協会へ市有建築物の被害状況調査の依頼があったのは3月末、その後すぐに会員皆様の協力を頂いて調査を開始し、全部の調査を終了したのは4月末でした。

大きな被害を受けた石巻地域ですが、今では集団移転事業も着実に進み、新しい市街地が形成され、街の

様子もだいぶ変わってきています。

石巻市では、魚市場を初め、基幹産業の水産業関連の施設も復旧が進んできた実感出来るようになってきています。

昨年5月に仙石線が全面復旧し、東松島市は、野蒜地区以外の復興住宅はほぼ完成し、一段と復興が進んでいるようです。

また、町の中心部が壊滅的な被害を受けた女川町は、石巻線も全線復旧し、街開きも大々的に行い、中心部の再生に弾みがついてきているようです。

とはいえ、復興はまだまだ道半ば、全国的にも人口が減少する中で、圏域人口の減少に拍車がかかっているのも事実であり、これらについての今後の対策にも真剣に取り組んでいくことも必要です。

大崎支部

大崎支部長 村田 秀彦

「内陸の復興モデルを目指して」という掛け声のもと5年が経過しました。東日本大震災の地震災害として最大の被害のあった当支部のエリアは、公共・民間施設共かなりの打撃を受けました。特に気になるのは中心市街地であり、公費解体の後押

<p>(株)村田工務所 一級建築士事務所</p> <p>代表取締役 村田 秀彦</p> <p>大崎市古川江合錦町 2-6-1</p> <p>☎ 0229-24-1500 FAX 0229-24-1511</p> <p>URL : http://www.murata-koumusyo.com E-mail : murata.co@murata-koumusyo.com</p>	<p>(株)北星設計</p> <p>代表取締役 渡邊 俊弥</p> <p>仙台市青葉区立町 22-14 西公園マンション 405</p> <p>☎ 022-266-9010 FAX 022-266-9043</p> <p>E-mail : watanabe.hokusei@s5.dion.ne.jp</p>	<p>(株)萩野工務店 一級建築士事務所</p> <p>代表取締役 萩野 望</p> <p>仙台市宮城野区榴岡 4-5-22</p> <p>☎ 022-297-2255 FAX 022-297-2257</p> <p>URL : http://www.chuokai-miyagi.or.jp/~hagino/ E-mail : t.koyama@hagino.co.jp</p>
---	---	---



しもあつた中で無残な歯抜け状態となり、空き地と駐車場が点在するといった状況も見受けられるところだ。

大崎地域の災害公営住宅の整備は完了していますが、復興事業と向き合う中で、建築士をはじめ技術・技能の継承を政策的に進めていかなければならないという課題に直面しています。また、関係各省庁の思惑や既存の制度により、一体的な取り組みや複合的な再生計画がうまくいかなくなかった部分があり、反省すべき点

ではないかと思われま。そして、地域に密着している地元建築士事務所として官民一体となり、未来を見据えた計画づくりに取り組んでいかなければならないと考えております。

今年度は支部事業の中で、林野庁補助事業「木造住宅等地域材利用拡大事業」展示場を運営いたしました。3ヶ月という短期間ではありましたが、宮城県木材協同組合との共同、地元の宮城県古川工業高等学校建築科の協力をいただき「木にあう、木にいる展示場」として開所し、木造住宅の良さを多くの人に伝えられたと思います。

今後も、当協会の社会的な役割を理解し、再生まちづくりから地域の発展へと力を尽くしてまいりたいと考えます。また、建築産業全体の発展を担うためにも支部活動を推進してまいります。

栗原支部

栗原支部長 小野寺 美夫

東日本大震災から5年目を向かえました。栗原地域は岩手宮城内陸地震当時よりは比較的には被害が少なかったようです。とはいえ、宮城各地の被災は甚大で大変な状況でし

た。ライフラインが壊滅状態で、行政から建築士事務所協会会員、建築士会会員に、住民の避難場所としての各地区の集会所・公民館などの建物の応急危険度判定調査を依頼されたのですが車の燃料不足でかなり苦労したものでした。避難所では飲料水の配給や、炊き出しの手伝いも行いました。特に栗原では3・11の余震であった4月7日の地震による被害の方が大きく、本震時の調査結果、避難所としての使用を禁止していた建物に大きな破損があったことで、当時避難者の受け入れを許可していた場合には、二次被害が発生していた可能性を思いますと、使用禁止を指示したことで、当時は不便を掛けていたのですが、胸を撫で下ろしたものでした。この震災前に宮城県沖地震・岩手宮城内陸地震の二つの大きな地震に対して建築士の方々が建物と宅地の応急危険度判定の実践を行っていたため、速やかに対応できたことは、日ごろの訓練が役に立つことが実証されたようです。国や県の助成により木造の耐震診断事業を行っているのですが、まだまだ昭和56年以前の建物が多いにも関わらず年々申し込み件数が減少しているのが実情です。以前から言われていた「宮城県沖地震」が、5年前の東日本大震災の震源域とは異なっている、まだ大きな地震発生の可能性もあるようです。時間の経過とともに

株 あいあーる
パレスへいあん

代表取締役社長 菊地 隼

仙台市青葉区本町 1-2-2

☎ 022-265-5111 FAX 022-265-8082

URL : <http://www.heian-sendai.co.jp/palace>

渡宏鉄工開発(有)

代表取締役 渡辺 宏一

名取市飯野坂字土城堀 139-1

☎ 022-384-3006 FAX 022-384-4327

URL : www7b.biglobe.ne.jp/~watakou/
E-mail : watakou@kyj.biglobe.ne.jp

株 山 大

代表取締役社長 木村 昭俊

石巻市潮見町 2-3

☎ 0225-93-1111 FAX 0225-93-1118

URL : <http://www.yamadai.com>
E-mail : home-h1@yamadai.com

中田町加賀野（南三陸町自主再建町並み）



危険への判断が薄れていく昨今ですが、もう一度あの地震の状況を思い返し啓蒙活動をしていきたいと考えています。

登米支部

登米支部長 小野 寛次

「震災後の町」

震災直後登米市の被害は沿岸の津波被害と違い、建物、道路、ライフラインに甚大な被害がありました。翌日登米土木事務所と当支部の4人で市内各公立病院の応急危険度判定調査をし、翌日3日目以降1週間かけて登米市、建築士会登米支部会員を加え一般住宅の調査を手がけまし

た。その後1か月間、車の燃料を心配しながら登米市中田庁舎会場で住宅相談の対応したことが思い浮かびます。

現在の市内の被害にあった町並みは写真でお分かりのように復興再建し新しく建てた方、解体し他の地域に移転し空地の状態の2面性をもつた町並みが、各町中心部で多く見受けられます。

他方南三陸町の方々の復興住宅が一つの町並みを形成している地域もあります。

市内南方町元ジャスコ跡地に約300世帯の仮設住宅では半数近くまで災害公営住宅若しくは復興再建住宅に移転し空き家状態になっておりコミュニケーション環境の悪化が懸念されます。

気仙沼支部

気仙沼支部長 熊谷 敬一郎



南方仮設住宅（元イオン跡地）

「震災後の町」

現在、気仙沼市においては、住宅再建、産業再生を重点に数々の復興事業が実施されています。特に、住宅再建については、防災集団移転区画整備が整備計画数のうち6割程度まで完了し、建設が進められています。災害公営住宅については、市街地部マンションタイプ、郊外部木造タイプとも20%台の完了数となっていますが、28年度にかけて数は大き

(株) E & C S

代表取締役社長 沼口 栄助

神奈川県川崎市高津区坂戸 3-2-1

☎ 044-829-6725 FAX 044-829-6799

URL : <http://www.kk-ecs.co.jp>

(株)阿部塗装工業

代表取締役 阿部 茂

仙台市太白区鉤取 2-29-27

☎ 022-244-3343 FAX 022-244-3344

URL : <http://www.abepaint.com/>
E-mail : info@abepaint.com

アズビル株ビルシステム
カンパニー東北支店

支店長 北浦 幸也

仙台市青葉区一番町 1-9-1

☎ 022-262-1575 FAX 022-265-8018

URL : <http://www.azbil.com/jp/>



く伸びることになります。そのうち、郊外部木造タイプにおいては、当支部が設立に尽力しました（一社）が、仙沼地域住宅生産者ネットワークが、気仙沼市より実施設計・建築確認・施工・監理と一括で受託し整備をすすめております。事業は、正にこれから建設のピークを迎えることとなりますが、被災者の期待に添えるよう、28年度中の完了を目指して引き続き当支部会員も事業実施の中心となって業務に対応してまいります。今後も日々の業務・協会活動を通じて、地域の復興・創生に貢献してまいります。

仙台東支部

仙台東支部長 鎌田 孝一

未曾有の被害をもたらした東日本大震災の発生からもう5年の月日が過ぎましたが、新聞や報道でも過去の映像等が流れ、復興の現状を見ることで改めて被災地域・被災者にとつては一生消える事の無い、忘れてはならないものであり後世に語り継いでいかなければならないものなのだと感じました。

今回の震災では避難一つをとつても問題点が表面化したものが多くありましたが、今後も事務所協会の一員として、避難に対する対応や情報伝達に対して適切に行動するという事がいかに重要であるかという点で行政と課題を共有することが出来れば、と感じております。

仙台東支部のエリアでは、沿岸部の地域では今だ復興とはほど遠い状態ではありますが、その他の地域では住宅の再建、災害公営住宅の建設、集団移転、インフラの整備等はかなり進んでおりますが、沿岸部との復興の進行の差は歴然としています。

震災後の支部事業としてしましては、平成25年に七ヶ浜町に『林野庁 森林整備加速化・林業再生事業』の一つとして復興住宅建設及び地元材の普及の為に、木材の良さを全面に出

したモデルハウスを建設し、展示会や地元の方たちに利用されていきます。また、現在も各地域の行事に参加し被災者の住宅再建の力になれればと復興住宅の相談会等を行っており、地元業者による低コスト住宅の建築も徐々に棟数が増えてきております。

今後も地域の復興・発展に助力し、更なる建築産業発展の為に活動してまいります。



写真は平成25年に林野庁の補助事業で被災地（七ヶ浜町の町有地内）に建設されたモデルハウス。将来七ヶ浜町に譲渡する事になっています。

<p>株小野光商事</p> <p>代表取締役 遠藤 光</p> <p>仙台市宮城野区小鶴 2-5-55</p> <p>☎ 022-252-0047 FAX 022-251-8828</p> <p>E-mail : onomitsu4810@nifty.com</p>	<p>株 才 ギ ノ</p> <p>代表取締役 荻野 誠也</p> <p>福島県福島市鳥谷野字岩田 35-1</p> <p>☎ 024-546-6700 FAX 024-546-6500</p> <p>URL : http://www.ogino1950.com/ E-mail : seiya-ogino@ogino-co.net</p>	<p>井上設備工業株</p> <p>代表取締役 井上 環</p> <p>仙台市宮城野区岩切字畑中 7-8</p> <p>☎ 022-255-6333 FAX 022-255-9617</p> <p>URL : http://www.act01.co.jp/ E-mail : vivace@act01.co.jp</p>
--	---	---

青年部会

青年部会長 東山 圭



震災により活動を休止していた青年部会の活動、昨年から新組織として新たに再結成した青年部会は、宮事協の会員企業及び賛助会員企業のこれからの宮事協を担う若手会員の集まりです。目的に「次世代を担う会員相互の親睦と研修等による質の向上」を掲げ3ヶ月に一度のペースで講演会や会員企業紹介などの活動を行っており、現在参加者は70名を超えております。



本年度の活動は
 6月5日(金) 18時〜
 第一回 青年部会
 9月4日(金) 18時〜
 第二回 栗原会長講演
 12月18日(金) 18時〜
 第三回 加藤副会長講演
 2月19日(金) 18時〜
 第四回 青年部会
 毎回青年部会では講演の他、部会員企業のPRタイムや懇親会も企画し、先ずは同志の交流を重視し、新しい組織ではありますが青年らしく活発な活動しております。
 今後は青年部会独自の事業も数多く企画・実施して参りたいと思っておりますので、多くの会員の皆さまのご参加をお待ちしております。

平成二十七年 女性部会活動

女性部会長 川口 裕子



さあみんな笑って～ ハイキムチ♪

① 2015年度活動Ⅱ
 情報交換会〜美味しいランチを食べながら〜

7月28日

この日は女子会らしく、イタリヤンランチををいただきながら和気藹々とした雰囲気の中で情報交換会を行いました。これから女性部会より発信してほしい事として
 ・まだまだ活動を知らない人も多いと思うのでもっと声を掛けてほしい。

(株)共成レンテム
 仙台営業所

所長 菅井 明

仙台市宮城野区仙台港北1丁目2-3

☎ 022-254-1711 FAX 022-254-1712

URL : <http://www.kyosei-rentemu.co.jp/>

菊水化学工業
 (株)仙台支店

支店長 菅原 和茂

仙台市宮城野区高砂1丁目31-16

☎ 022-207-5710 FAX 022-207-5712

URL : <http://www.kikusui-chem.co.jp/>
 E-mail : j-kikusui@kikusui-chem.co.jp

(株)ガーデン二賀地

代表取締役 田中 穂光

仙台市青葉区上愛子遠野原 34-1

☎ 022-392-4128 FAX 022-392-3184

URL : <http://www.nigachi.co.jp>
 E-mail : host@nigachi.co.jp



・女性の輪が広がらないのは経営者と社員の温度差があるように思う（経営者の協力が無いと出席しにくい状況）
 ・日帰りバスツアー・水族館見学・車イス体験
 ・フリーマーケット（収益金は施設等へ寄付）
 こんな声を寄せられました。

② ビューティーアップセミナー

9月8日

身体のメンテナンスサロン『株式会社リンク』の代表取締役 前田浩呼先生を講師に迎えて「身体の基本とむくみ、冷え症、肩こり等についての悩み解消法」のセミナーと「小顔になるリンパマッサージとメイク術、元気になるストレッチ運動」の実演を行いました。

セミナー後のアンケートには

- ・今日はとてもリフレッシュできました。
- ・女子力UPしそう！
- ・いつもはノーマイクですが化粧つて楽しいですね。
- ・とても勉強になりました。
- ・集まった時よりも最後はみんな笑顔が輝いていて、こんな活動にまた参加したいなと思いました。
- ・他にも参加者の皆さんからは、たくさん
- ・六幽庵で浴衣の着付けと作法の講話（茶会）
- ・フレンチ会食
- ・着付け教室＋温泉付き昼食会（岩松旅館）
- ・バツハホール建物見学会＋演奏鑑賞会
- ・着物で賀詞交歓会及び全体会議受付業務お手伝い
- ・みやぎ建築未来賞の司会進行
- ・フラワーアレンジメント（リース教室）
- ・事務局前の花壇作り
- ・七夕飾り
- ・料理教室
- ・一関日帰りバスツアー
- ・久慈一泊バスツアー

んのありがたうの言葉が書かれました。

平成十八年十月、当時の当協会副会長でありました故吉田イサム氏が発足してから今年で十年目を迎えます。

当部会は親会である宮事協が行う事業協力と会員相互の研鑽により女性としての資質の向上を図ることを目的として活動しておりますが、あまり堅苦しく考えずに（ぶっちゃけ？）明るく楽しい時間を共有し、女性が活躍できる場所を作りませんか？

小松ウォール工業(株) 仙台支店

支店長 井尻 茂樹

仙台市宮城野区日の出町 1-6-10

☎ 022-788-2181 FAX 022-788-2188

URL : <http://www.komatsuwall.co.jp>

(株)建築資料研究社 日建学院仙台支店

支店長 工藤 重人

仙台市青葉区中央四丁目 6-1
住友生命仙台中央ビル (SS30) 7F

☎ 022-267-5001 FAX 022-267-0819

URL : <http://www.ksknet.co.jp/>
E-mail : 009775@mx1.ksknet.co.jp

(株) 建 研 所
仙 台 営 業 所

所長 細田 尚宏

仙台市若林区新寺 1-3-45

☎ 022-791-8750 FAX 022-791-8752

URL : <http://www.kenken-pc.com/>
E-mail : Hosoda.Yoshihiro@kenken-pc.com



平成二十七年
部会運営室「みやじ連」活動

部会運営室室長 川口 裕子

II 2015年度活動II

☆南三陸町夏祭り 7月25日

☆希望の杜 夏祭り 7月26日

☆宮事協ビアパーティー 7月30日

☆南三陸八幡川かがり火祭り復興市 8月29日

☆定期練習会 毎月第3水曜日
(夏のイベント前は毎週)

平成21年から友好と親睦を図る目的で設立されたみやじ連は今年も皆さんの笑顔に出会いたい...というこ
とで活動しています。
今年度は業務室の復興モデル住宅
運営委員会とのコラボレーションも
あり、住宅相談会の要請があった南
三陸町の夏祭りにも出させていた
きました。

東日本大震災以降は10ヶ所
以上の出演依頼があり踊って
参りました。
例にあげると日辺の仮設住
宅、新井の仮設住宅、岡田小
学校、南三陸町や七ヶ浜の復
興祭り、老健施設など：
他にも神事協(神奈川県建
築士事務所協会)との研修交



流会に参加させていただきました。
老若男女誰でも参加できる阿波踊
りで皆さんに元気を届けたらいい
練習もしています。
阿波踊りって有酸素運動で身体に
とてもいいんですよ。興味のある方
は是非参加しませんか？

真栄工芸(株)

代表取締役 熊谷 一

宮城郡利府町しらかし台 6-13-2

☎ 022-356-6688 FAX 022-356-6941

URL : <http://www.shineikogei.jp>
E-mail : ma-kumagai@shinei-kogei.co.jp

サンポット(株)
仙台営業所

所長 山本 訓生

仙台市宮城野区扇町 4-2-40

☎ 022-236-3444 FAX 022-238-9416

URL : <http://www.sunpot.co.jp>
E-mail : kunio.yamamoto@sunpot.co.jp

(株)サミー工業

代表取締役 高橋 和浩

仙台市泉区市名坂字南前 79

☎ 022-372-5456 FAX 022-375-1075

URL : <http://www.samy.co.jp/>
E-mail : m-sato@samy.co.jp

神事協の皆さんと湘南の海で



相馬の野馬追連の庄司連長も一緒に踊ってくれました



こんな笑顔届けたい～



私達と一緒に阿波踊りしませんか



毎月第4木曜日の
佐藤一男先生による練習会

平成二十七年 部会運営室《MG会》活動

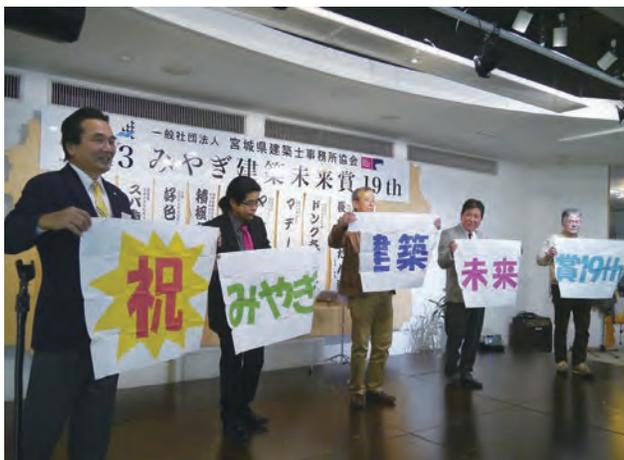
部会運営室室長 川口 裕子

① 2015年度活動Ⅱ

11月7日

みやじつく魔術団：通称MG会は東日本大震災後の2012年に当協会栗原憲昭会長より設立された会です。当初は復興支援の一環として、仮設住宅等に訪問した際に皆が笑顔になれることはないかと模索していたところ栗原会長が東北経済倶楽部にてマジック倶楽部同好会の委員長として長い間貢献してきた経緯もあり当会の発足に至りました。

今では恒例行事となりました『みやぎ建築未来賞』のアトラクションでの出演でたくさんの人達に笑顔をお届けしています。当会には三つの掟がございます。それを守る方のみ入会することができのです。興味のある方はMG会までお問い合わせください。お待ちしております。



さて、なにができるかな？

賛助会だより

賛助会として一年間の事業、会則第4条の目的を基に、会員の相互の親睦交流、建築情報の調査研究、研修会並びに施工に伴う技術研究、その他本会の目的達成する為必要な事業を会員皆様のご協力を頂きながら展開して参りました。

実務者セミナーも11回を開催、総数235名の受講者でそれぞれの業種の勉強、体験になったことと思います。受講者のみなさまの高いポテンシャルを活かし生きがいのある建設産業や町づくり、地域発展に貢献して頂ければと思います。

本会と賛助会会員の方の参加が出来る、従来からの恒例事業ボーリング大会、オープンゴルフ大会、ビヤパーティに加え、第2回目の音楽の夕べは想定以上の参加者で賑わいました。これらの事業を通し協会会員、賛助会会員相互親睦が図られ、それぞれの事業所様の発展、繁栄に繋がる事をご期待申し上げます。私たち賛助会員は基礎から完成まですべての技能、技術を是非、協会会員様にご活用いただけます様お願い致します。

一般社団法人 宮城県建築士事務所協会 賛助会
会 長 阿 部 茂

賛助会行事 ～音楽の夕べ～ の様子

会員様、会員様のお知り合いの方にはたくさんお集まりいただき、音楽に食事にアトラクションに・・・楽しいひとときを過ごしました。



Jazz・ホップ・クラシック・映画音楽、アップテンポの曲もあり・・・



栗原会長、阿部会長の挨拶でスタートしました♪



ゲームもあり（商品贈呈）





平成27年度 宮事協 総会
日程：平成27年 5月29日(金)
場所：パレスへいあん



太平電気(株)
代表取締役社長 前澤 博
仙台市若林区卸町東 1-4-23
☎ 022-290-5491 FAX 022-239-1165
URL : <http://www.taiheidenki.co.jp/>
E-mail : yasuki-k@taiheidenki.co.jp

大全電機(株)
代表取締役 阿部 雄三
仙台市若林区卸町東 5-7-18
☎ 022-288-0701 FAX 022-288-0705
URL : <http://www.daizen-co.com/>
E-mail : daizen@daizen-co.com

新日本商事(株)
代表取締役 安部 文秋
遠田郡美里町北浦字天神南 35 - 1
☎ 0229-34-2242 FAX 0229-34-1461
URL : <http://www.njtrade.jp>
E-mail : sns@fine.ocn.ne.jp



表彰式終了後、参加者全員で集合写真

平成27年度 宮事協 ボウリング大会

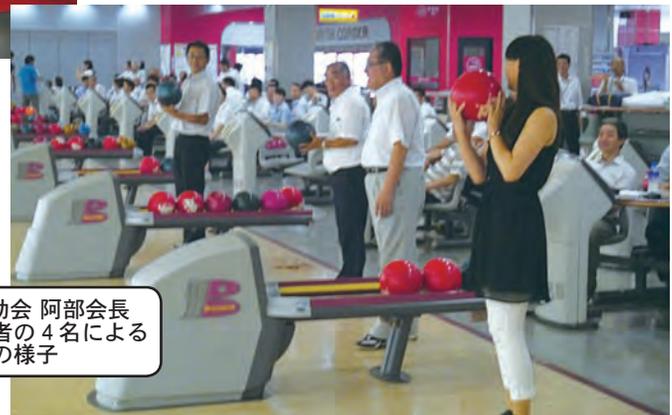
日 程：平成27年7月22日(水)

場 所：仙台ベガロポリス

参加人数：87名



栗原会長、賛助会 阿部会長
昨年度上位入賞者の4名による
始球式の様子



男性部門・女性部門
優勝者と栗原会長



株 中西製作所
東 北 支 店

支店長 鈴木 克也

仙台市宮城野区岩切分台一丁目 8-9

☎ 022-352-0651 FAX 022-352-0652

URL : <http://www.nakanishi.co.jp>
E-mail : t-kamiya@nakanishi-mfg.com

東北藤吉工業(株)

代表取締役 佐藤 泰夫

仙台市若林区蒲町 18-1

☎ 022-286-4431 FAX 022-286-4578

URL : <http://www.fujiyoshi.co.jp/>
E-mail : y-satoh@t-fujiyoshi.co.jp

大 洋 基 礎 (株)
仙 台 営 業 所

所長 佐々木義行

仙台市青葉区北目町 2-39
東北中心ビル 7F

☎ 022-268-7838 FAX 022-268-7468

URL : <http://www.taiyo-kiso.co.jp>
E-mail : yasaki@taiyo-kiso.co.jp

平成27年度 宮事協 全体会議・ビアパーティー

日程:平成27年 7月30日(木)

場所:パレスへいあん



藤村ヒューム管
(株)仙台営業所

所長 遠藤 忠男

仙台市青葉区上杉 1-16-8
プロスペール本田 5F

☎ 022-226-7790 FAX 022-264-5235

URL : <http://www.fujimura-gr.jp/>
E-mail : sendai.off@fujimura.gr.jp

(株)平塚アルミ工業

代表取締役 千葉 雄之

仙台市若林区御町東 4-3-15

☎ 022-288-7461 FAX 022-288-7054

ナショナルエレ
ベーター工業(株)

代表取締役 大場 秀兵

仙台市青葉区上愛子字松原 47-12

☎ 022-392-8080 FAX 022-392-8088

URL : <http://www.n-elv.co.jp/>
E-mail : oobas@n-elv.co.jp



平成27年度 宮事協 オープンゴルフ大会

日 程：平成27年10月6日(火)

場 所：泉パークタウンゴルフ倶楽部

参加人数：90名

優勝者：関口 幸平(株技工一級建築士事務所)



株 マルゼン
東 北 営 業 所

所長 相原 仁

仙台市宮城野区原町 2-3-43

☎ 022-299-0511 FAX 022-299-0522

URL : <http://www.maruzen-kitchen.co.jp/>
E-mail : touhoku@maruzen-kitchen.co.jp

松 本 事 務 機 株

代表取締役社長 松本 信一

仙台市宮城野区幸町 2-11-23

☎ 022-299-8181 FAX 022-299-8282

URL : <http://www.mbm-kk.co.jp>
E-mail : info@mbm-kk.co.jp

株 堀 越

代表取締役 堀越 良克

仙台市宮城野区中野三丁目 5-22

☎ 022-258-6768 FAX 022-258-8595

URL : <http://www.horikoshi.info/>
E-mail : yoshikatu@horikoshi.info



平成28年 宮事協
新春記念講演・新年賀詞交歓会
日程：平成28年 1月22日(金)
場所：パレスへいあん



YKK AP (株)
東北支社
支社長 澤田 雅稔
仙台市青葉区本町 2-9-7
仙台 YF ビル 4F
☎ 022-263-4134 FAX 022-263-4135
URL : <http://www.ykkap.co.jp>
E-mail : s_watanabe@ykkap.co.jp

(株)ミヤックス
代表取締役 高橋 文蔵
仙台市泉区寺岡 1-1-3
☎ 022-777-5888 FAX 022-777-6888
URL : <http://www.miyax.jp>
E-mail : info@miyax.jp

三菱電機 (株)
東北支社
支社長 江本 順一
仙台市青葉区上杉 1-17-7
☎ 022-216-4638 FAX 022-216-4716
E-mail : Satomi.Yoshiaki@ce.MitsubishiElectric.co.jp



震災現地調査用の出発式



看板を設置する三栖日事連会長(左)と栗原宮事協会長



応急危険度判定説明会



講習会風景



ガイドライン説明会



住まいの耐震博覧会に設置した住宅相談コーナー



理事会の風景



生産者グループ発足式



木造軸組蔵構法で耐震性を確保・七ヶ浜町



まかべ工法を採用し工期を短縮・南三陸町



震災復旧支援活動に対し宮城県から感謝状贈呈



被災度区分判定講習会



被災地支援活動・わかめ販売



地域型復興住宅連絡会議



神奈川会との意見交換会



兵庫会との意見交換会



木材見学バスツアー（南三陸町）



木材研修（登米森林組合）



耐震技術セミナー



木材研修会（登米森林組合）



建築未来賞事前セミナー



耐震技術セミナー



建築未来賞事前セミナー



日事連全国大会 三重大会参加



復興住宅展示会場



栗原支部技術セミナー



復興住宅展示会場



建築未来賞事前セミナー



七ヶ浜モデル住宅上棟式



新しい省エネ施工法の住宅模型



七ヶ浜モデル住宅上棟式



省エネ技術講習会



南三陸モデル住宅上棟式



七ヶ浜モデル住宅上棟式



講習会風景



南三陸モデル住宅上棟式



講習会風景



南三陸モデル住宅上棟式



地域型住宅推進協議会幹事会



南三陸モデル住宅上棟式



全体会議での新入会員入会式



耐震診断勉強会 (高橋副会長の挨拶)



全体会議での新入会員入会式



耐震診断勉強会 (白鳥室長の挨拶)



2014 納涼ビアパーティ 佐藤副会長の挨拶



耐震診断勉強会



2014 納涼ビアパーティ “みやじ連のおどり”



復興住宅技術セミナー



賛助会 “2014 音楽のタベ” ダンスタイム



2014 納涼ビアパーティー “ロス・ノンベダスの演奏”



賛助会 “2014 音楽のタベ” 会場



地元工務店の住宅相談会



2014 オープンゴルフ大会 表彰式



賛助会 “2014 音楽のタベ” 栗原会長挨拶



2014 オープンゴルフ大会 表彰式



賛助会 “2014 音楽のタベ” ダンスタイム



2014 ボウリング大会 両会長と男女優勝者



省エネ技術者講習



2014 ボウリング大会 始球式



多賀城市民まつり参加（地域型復興住宅推進協議会）



平成 26 年度 通常総会・講演会（松崎俊道氏）



女性部会活動（クリスマスリース作り）



平成 26 年度 通常総会・懇親会（栗原会長挨拶）



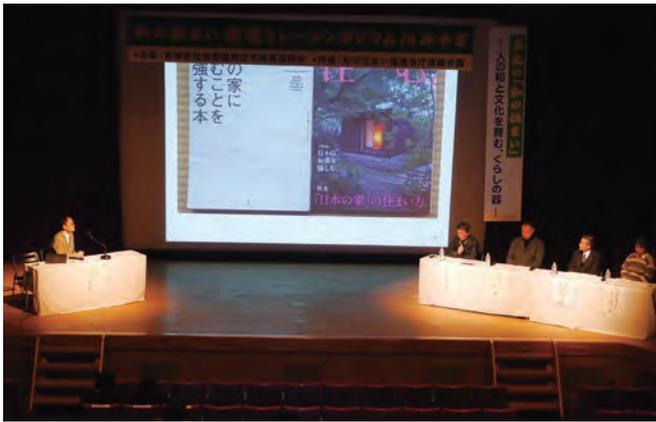
マッチングサポート制度説明会



和の住まいシンポジウム（大沼教授のパネルディスカッション）



南三陸 住宅相談会



和の住まいシンポジウム（大沼教授のパネルディスカッション）



グリーン化事業セミナー



和の住まいシンポジウム（栗原会長挨拶）



住宅相談企画会議



避難所の応急危険度判定で協定締結（奥山市長と栗原会長）



講演会 “木の建築と未来”（有馬孝禮氏）

建設新聞 平成23年 6月22日(水曜日)

建築相談、復興住宅の研究など

復興支援業務を開始

日事連

岩手、宮城、福島に支援C設置

日本建築士事務所協会連合会(三栖邦博会長)は21日、岩手、宮城、福島の各建築士事務所協会に建築復興支援センターを設置した。被災者の建築相談やまちづくり・住宅の復興支援、建築行政に対する支援などを行う。また、宮城や福島では地場産材を活用した復興住宅や津波に強い建築物を研究する。宮事協の開所式に出席した三栖会長は支援センターを復興支援のプラットフォームと位置付け、本部と県協会が連携して対応する方針を示した。3年間運営する。

三栖会長らは東日本大震災の後、特に被害が甚大だった岩手、宮城、福島の被災地や協会を訪問し、支援の在り方を検討。各県協会単独では十分な

復旧・復興活動は困難なことから、17日に東日本大震災対策本部会議を開き、3県協会と共同で建築復興支援センターを設置することを決めた。

各建築士事務所協会が行う復興支援業務は被災者からの建築相談に応じ、現地調査が必要な場合は相談員を派遣するほか、行政が主催する建築相談に相談員を派遣する。また、復興まちづくりに関する研究や各種防災イベントの企画・実施、建築行政情報の周知徹底などを行う。



会見する三栖会長(右)と栗原宮事協会長

宮城では相談、復興支援、行政協働、総務・広報の3部会を設置。このうち復興支援部会は復興住宅や津波に強い建築物を研究し、行政などに提案する。復興住宅は公営と自立型の両方に対応で



村上勝郎岩事協会長(左)と野呂敏秋日事連副会長



田畑光三福事協会長(左)と山田美光日事連副会長

きるものを想定。地域を熟知した地元職人、建築士事務所が地場産の資材を活用し、段階的に増築できるプランをイメージしている。また、女川町のRCビルが津波で横倒しにされた事例を踏ま

え、津波に強い建築物を研究する。栗原憲昭会長は「われわれの活動の目玉にしたい」と抱負を述べた。

福島では相談支援、普及啓発、復興支援、広報記録の4部会を設置。相談業務のほか、県産材を活用した復興住宅の調査研究、フォーラムや防災イベント、高校生の地域防災授業などを予定している。岩手は建築士事務所向けの技術講習会、公共建築物の復旧支援などを行う。

一方、日事連本部は各県協会からの要請に対応できるように技術者を育成するほか、建築士事務所技術力向上を図るため、「被災度区分判定および復旧技術」講習会を実施する。

日事連の支援は3年間を想定。毎年、支援センターの活動事業費を1,000万円を限度に負担する。

業務は毎週月曜日～金曜日まで、9時～17時に行う。

三栖会長は支援センターについて「被災者の暮らし再建、建築の復旧・復興を担っている県事務

所協会を通じて全国の事務所協会が被災地を支援するプラットフォームとして位置付けている」と

強調。経費と技術者の両面から全面的に支援していく考えを示した。

建設新聞 平成24年 6月19日(火曜日)



震災復興再建ハンドブック作成
宮城県建築士事務所協会(栗原憲昭会長)は被災者向けに復旧復興に係わる事柄を簡略にまとめた冊子「震災復興再建ハンドブック」を作成した。

宮事協 住宅情報を被災者に提供

被災者に提供

被災者への住宅情報を提供。被災者への住宅情報は、被災者への住宅情報を提供。被災者への住宅情報は、被災者への住宅情報を提供。

報▽損害保険金など住宅を失った被災者などが必要とする情報を掲載している。

建築復興支援センターでは「被災建築物のこれから」について無料・有料の相談・調査を受け付けている。

宮事協

宮城県から感謝状

震災復旧・復興に貢献

宮城県建築士事務所協会(栗原憲昭会長)は被災建築物応急危険度判定に協力し、東日本大震災の復旧復興に多大なる貢献をした



三浦技監兼次長(左)と栗原会長

たとして、宮城県から感謝状を贈られた。2月28日、県土本部の三浦隆夫技監兼次長が仙台市の協会事務局長を訪れ、栗原会長に感謝状を手渡した。宮事協は震災直後から、県の要請に基づいて応急危険度判定業務に協力。宮城県内の約1万6,000件を実施した。また、被災建築物の復旧・再建に関する相談も行い、その件数は約6,000件に上っている。栗原会長は、「震災対応では特に会員の力が発揮された。感謝状をいただくことは、協会の役割が認知された証とも言えるだろう」と話している。

なお、宮事協には昨年10月10日に国交省住宅局長からも感謝状が贈られている。

避難所の応急危険度判定で協定締結

建設関係4団体と仙台市

建築専門家団体4団体と仙台市は6日、地震災害時における避難所などの応急危険度判定に関する協定を締結した。震度6弱以上の地震災害が発生した場合に、建築専門家団体はあらかじめ指定された避難所の判定を開始する。6日に市役所で調印式が行われた。協定を締結したのは、宮城県建築士事務所協会(栗原憲昭会長)、宮城県建築士会仙台支部(齋藤善昭支部長)、日本建築家協会(JIA)東北支部宮城地域会(鈴木弘二会長)、仙台建設業協会(河合正広会長)の4団体。地震発生時には、避難所は原則として施設管理者が安全確認を行うが、仙台市では東日本大震災の際、4日間の時間を要した。このため、民間の応急危険度判定士の協力体制を確立して迅速な判定を実施する。調印式では、4団体を代表し、宮事協の栗原会長が「4団体一丸となって市民の安全・安心の確保に努めたい」とあいさつ。各代表者が協定書に調印し、奥山恵美子仙台市長と協定書を取り交わした。奥山市長は、「民間の建築専門家の方々の力をいただきとても心強い。2000年の避難所のほか、補助避難所もカバーできるような体制をつくっていきたい」と話していた。現在、判定士の数は4団体で375人。今後、市と4団体が連携して判定活動体制を整える。

建築資材の相談事業、現場見学会も

地域木材連絡会議設置へ

復興に向けた木のくらし創出事業に着手

宮事協

宮城県建築士事務所協会(栗原憲昭会長)は7月から新たに「復興に向けた木のくらし創出事業」に着手する。県産材を活用した復興住宅の普及を目的に県地域型復興住宅推進協議会と連携。林業関係者や住宅生産団体と地域木材供給連絡会議を開催するほか、工務店・大工を対象にした建築資材に関する相談事業や木材供給の現場見学会・研修会、住宅再建者向けには地域復興住宅の事例集作成、相談会などを展開する。

宮城県内では約7万戸の復興住宅需要が見込まれ、このうち災害公営住宅を除く5万7,000戸については被災者の自力による住宅再建が想定されている。

こうした民間が担う復興住宅に県産材を活用しようと宮事協は県地域型復興住宅推進協議会と連携して活動しており、今年度はその取り組みを強化する。

地域木材供給連絡会議は、森林組合や木材協同組合など木材供給団体と、宮事協会員の設計事務所、住宅生産団体、県林業振興課で構成。年度内に3〜5回程度開催

し、地域型住宅普及に向けた課題や木材供給の安定供給などを検討する。併せて、推進協議会に登録している地域住宅生産者グループの代表者会議を県内8ブロックごとに

2回程度開催し、流通木材の諸問題について意見を交換する。県産材の活用には工務店や大工の理解が必要なことから、建築資材の入手に関する相談事業や、原木供給・木材供給の現場見学、木材利用の設計法や活用事例の研修会・交流会などを行う。

一方、住宅再建者向けには「木の家・木の部屋」を象徴する地域型復興住宅の事例集を作成し配布するとともに発表会を通じてアピールする。また、地域型復興住宅推進協議会のホームページで先導的な生産者グループの新しいモデルプランや活動内容を紹介するほか、構造見学会や竣工見学会、融資制度に関する相談会などを開催する。

このほか、住宅復興の実態把握調査と木材の生産・流通の実態に関するアンケート調査を行い、現状の課題を分析。講演会、シンポジウムなども予定している。

保険の普及で苦情を減らす

このたびの土法改正では「書面による契約締結の義務化」のように、数多くの重要な改定が行われました。しかし、この改定で建賠保険加入の努力義務化が図られていることに気づかれた方は、残念ながらあまりおられないのではないかと思います。実は、改正土法第24条の九として、「建築士事務所の開設者は、設計等の業務に関し生じた損害を賠償するために必要な金額を担保するための保険契約の締結その他の措置を講ずるよう努めなければならない。」と規定されています。

さる国交省OBによると、言わば「建賠保険への加入努力義務」を課すこの条文は、少なくとも公共建築物の発注に関しては、強制加入同等の重みを持つということでした。以前から入札に際して、建賠保険の加入を契約条件にしたり、加入の有無をチェックしている地方自治体がいくつかありました。これからは、そうしたところが増えることは確実だ

ということですが。近頃、建賠保険に関する当社への問い合わせの電話が多くなっているのは、そのためもあるのだと思います。

ところで、平成11年4月6日付で建設省住宅局長名で東京都知事あてに発信された「建設省住指第163号」という少し古くなった文書のコピーが私の手元に大切に保管されています。「大事なら しまうな きつと出てこない」のサラリーマン川柳



加入努力義務化

有限会社 日事連サービス

相談役 中川孝昭

減るわけではありませんが、保険金の給付を通して、被害者は救済される機会が増え、結果として苦情を減らすことになるでしょう。

「消費者保護」を判定するための「リトマス試験紙」

ところで、読者の皆さんの多くが日頃、愛車を運転されていると思います。そして、自賠責保険に加入していないと愛車の運行ができないことは、ご存知の通りです。交通事故

を近頃では、地で行く日々の私なのですが、昔大切にしまっておいたものは、不思議と思いつけるものです。「建築物安全推進計画」と題するその文書の別紙には「関係団体に対する施策」として、「賠償責任保険等への加入の推進を図る」と具体的な指示が盛り込まれています。国は昔から、この保険の重要性を認識し、普及のために手を打ってきているのです。

による被害者を救済するための「自動車損害賠償保障法」という法的措置に基づくものです。加入することが法律によって義務付けられているため「強制保険」という呼ばれ方もしています。正式な名称は「自動車損害賠償責任保険」これを縮めて「自賠責」となり、これも自動車運転者のための賠償責任保険なのです。建賠保険とは姉妹関係にある賠償責任保険の仲間です。建賠保険も保険金は通常被保険者である建築士事務所

あてに支払われますが、この保険で守られているのも、結果的には依頼主である建築主です。「消費者保護」のためのこれもまた「事賠償」なのです。建賠保険加入証は、「消費者保護」を実践しているかどうかを判定するための「リトマス試験紙」のようなものです。

長年の念願が叶って、昨年6月に宮城会さんをはじめ、全国の建築士事務所協会に出資を仰ぎ 日事連

サービスの株主となつていただくことができました。名実ともに日本建築士事務所協会連合会（日事連）とその会員のための会社となつたわけです。建賠

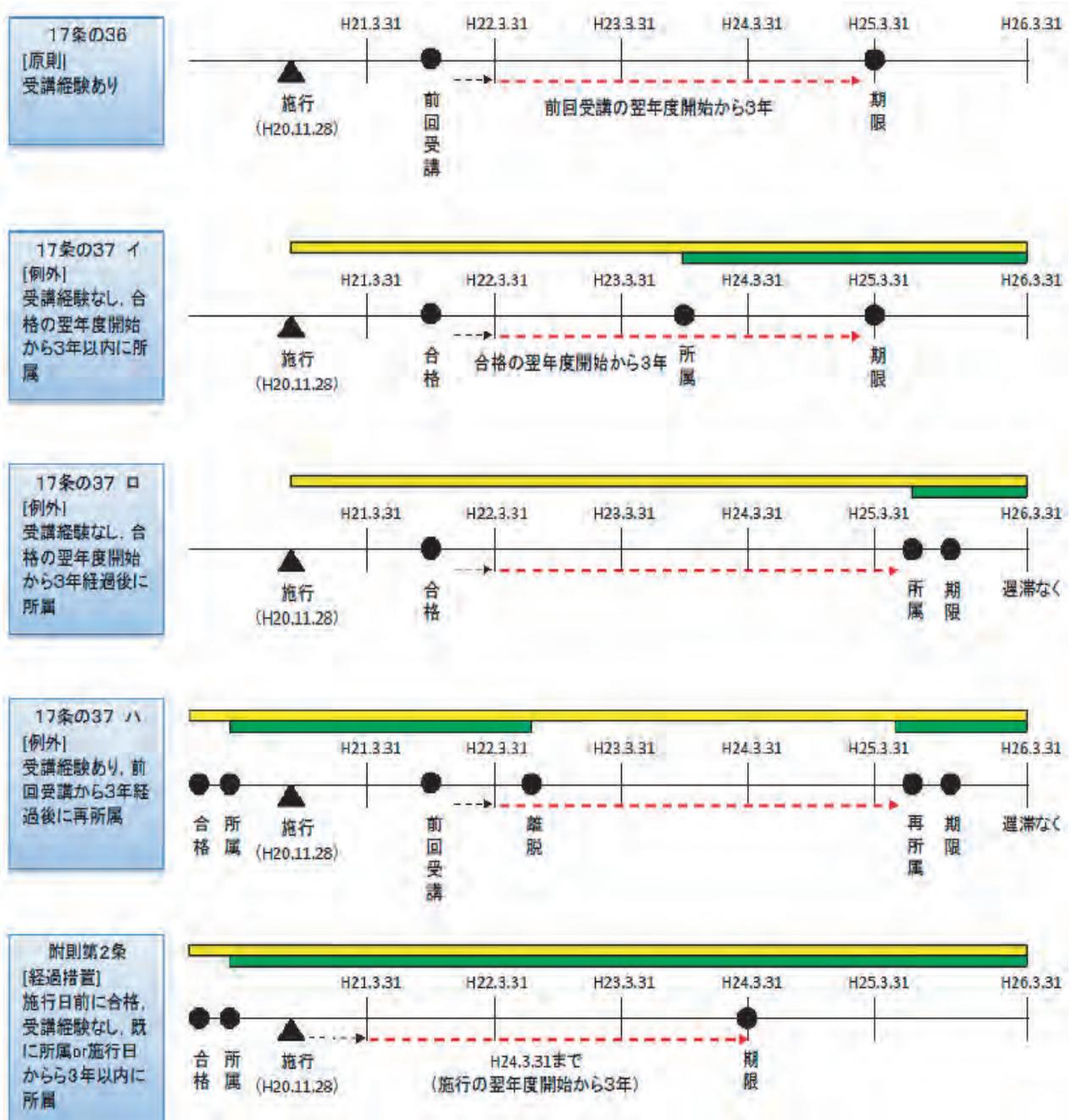
保険が皆さんにとつて、業務に直結する重要なリスクマネジメント策であるとの理解から、その普及は福利厚生事業の一角をなす大切な事業であると位置づけられてきました。日事連の福利厚生委員会の尽力により平成7年に設立されたのが日事連サービスなのです。宮城会の皆さんには「消費者保護」のために、全国一の加入率を目指して普及活動を展開していただきたいと願うばかりです。

建築士事務所所属建築士の定期講習の受講について

建築士法の改正（建築士法の一部を改正する法律（平成18年法律第114号）により、
 建築士事務所に属する建築士は定期講習の受講が義務づけられています。
 定期講習の受講は一定期間（3年以内）ごとに受講しなければなりません。

建築士事務所の所属建築士の定期講習の受講時期フロー

講習を受ける年数については、起点となる日の翌年度の開始の日から数えます。





口 ス・ノンベダスのプロフィール

始まりは今から15年前、青葉区の川平に住む中年の親父達が5人集まり、地元居酒屋「魚しげ」で酒を飲んでいたら、「酒ばかり飲んでいないで何か他にやることはないの」とのキツイ一言、一念発起して集会場に楽器を持って集まったところが、持って来るのは楽器だけでなく、お酒も持参し楽器をかき鳴らすや、すぐ酒盛りになり練習どころではない状況が続きました。これではいけないと飲酒厳禁の小学校の空き教室を地域に開放している「マイスクール」を借りて、真面目に練習せざるをえなく、めきめき腕を上げ(?)

その年の定禅寺通ジャズフェスティバルに出演し、以来14年連続出場を果たしています。名前は「ロス・ノンベダス」



ジャズフェス初出場当時の写真

フォルクローレ音楽との出会い・・・

株式会社関・空間設計 石原修治

なぜフォルクローレ (中南米の民族音楽) かという点

最初は楽器を



持って集まったところ、みんな学生時代にちよつとかじったギターを持つてきました。我々の青春時代は、フォークソングからグループサウンドへと移行期で。女の子にもてる唯一のアイテムがギターを

弾けてフォークソングが歌えること、カラオケもないあの時代の若者の定番でした。仲間のひとりがケーナ、サンポニーヤ、チャンゴラなる中南米音楽の楽器を持ってきて「コンドルは飛んでゆく」「花祭り」などのCDを聞かせてもらったところ、その物憂げで、さわやかな旋律が我々中年親父の琴線を刺激して、仙台でもあまりこの手の音楽をやっているバンドも少なく希少価値がある

などの理由で飛びつき、一人ひとつづつ楽器を取り合つて、最後に残った楽器が私の担当する普通のギターとなりました。

演奏の場所

震災以降めつきりと練習と演奏の機会が減りましたが、町内会の夏祭りから、文化祭り、老人ホームの慰問、飲み屋での演奏、福島県の川俣でのフォルクローレ祭り、あちこちに出かけて演奏しました。結婚式や、事務所協会のビアパーティー、阿部賛助会会長の塗装工業会の席にも呼ばれました。アンプなどが不要なので手持ちの楽器でどこでも演奏できる手軽さで、西公園の花見で演奏すると人々が集まって聴いてくれます。その手軽さとアングレスの高原を思い起こせるさわやかさが皆に愛されるのかなと思っています。

今では平均年齢も還暦を過ぎ、ぼけないためにずっと続けていこうと思っています。



ジャズフェス第21回に出場の様子 (メンバー5人で)

事務局memo

協会事務局の花壇を
模様替えしていただきました♪
(ご協力 女性部会の皆さま)



ピンクの表情からの・・・



黙々と作業
約 数時間



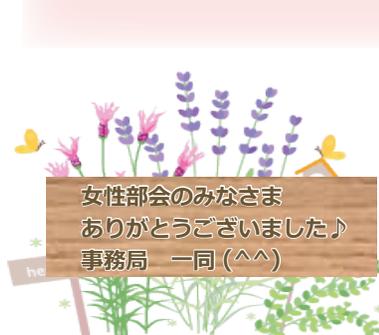
ハーブを主体とした宿根草を植栽し、
すっかり表情が変わりました

年々株を大きくさせ、
土面が見えないように成長していくので、
彩りのある花壇を楽しめます。



ラベンダー・サントリナ
オレガノ・ローズマリー
タイム・ルブス・ロータス
コンボルブルス

会員のみなさま、通りがかりの際は
是非お目にふれてみてくださいね。



事務局からのお願い

会社の社名・代表者・所在地・電話・FAX・メールアドレス・協会担当者 等が変更
になった場合は、変更届を事務局まで提出していただくことになっています。

(事務所登録への変更とは別に提出となります)

変更届の様式は、事務局にお問い合わせ下さい。

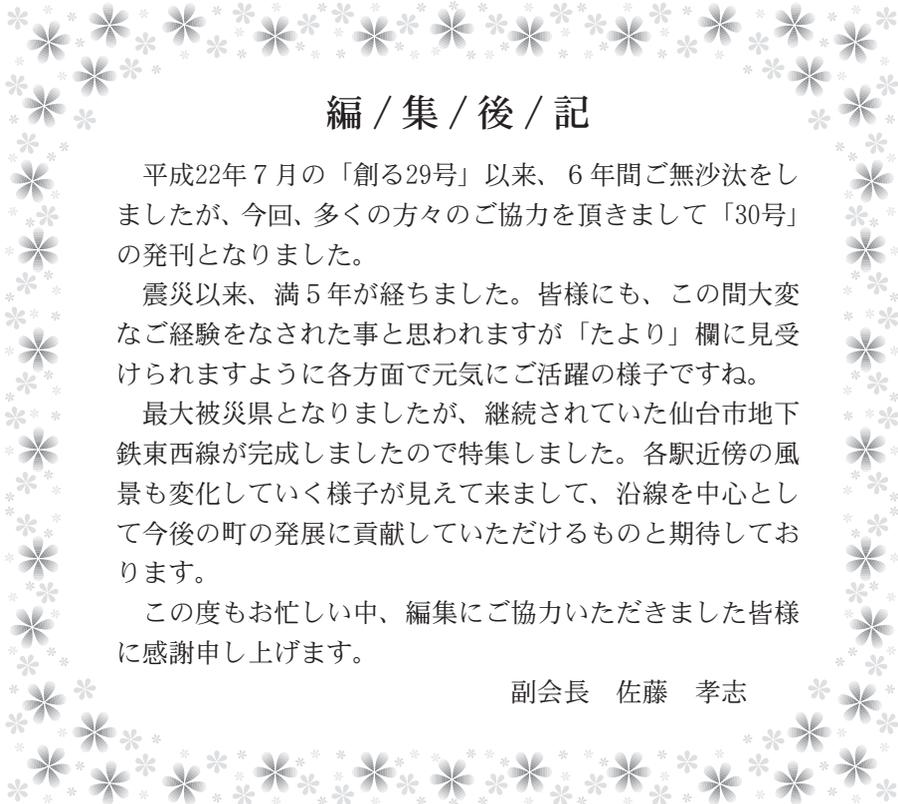
(連絡先)

〒980-0011

仙台市青葉区上杉二丁目 2-40 宮城県建築設計会館

電話 022-223-7330 Fax 022-223-7319

平日 9時～18時



編 / 集 / 後 / 記

平成22年7月の「創る29号」以来、6年間ご無沙汰をしましたが、今回、多くの方々のご協力を頂きまして「30号」の発刊となりました。

震災以来、満5年が経ちました。皆様にも、この間大変なご経験をなされた事と思われませんが「たより」欄に見受けられますように各方面で元気にご活躍の様子ですね。

最大被災県となりましたが、継続されていた仙台市地下鉄東西線が完成しましたので特集しました。各駅近傍の風景も変化していく様子が見えて来まして、沿線を中心として今後の町の発展に貢献していただけるものと期待しております。

この度もお忙しい中、編集にご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

副会長 佐藤 孝志

～私たちが編集しました～（※順不同）

編集委員 佐藤雅友、関口幸平、佐藤昌弘、
松田純也、志久保ひろみ

一般社団法人 宮城県建築士事務所協会
会報誌
「創る」30号

発行日：平成28年5月1日
発行：一般社団法人 宮城県建築士事務所協会
〒980-0011 仙台市青葉区上杉2丁目2番40号
宮城県建築設計会館
TEL.022-223-7330 FAX.022-223-7319
E-mail:jimukyoku@miyajikyoo.com
URL: <http://www.miyajikyoo.com>

高効率石油給湯器

エコフィール

家庭にも地球にもやさしい、省エネ・快適生活

高効率石油給湯器「エコフィール」は、熱効率を95%にまで向上。
ご家庭の灯油使用量を節約するだけでなく、CO₂排出量も大幅に削減することができ、暮らしにも地球環境にもやさしい給湯器なのです。



年間約79ℓの灯油を節約!

効率良くパワーを発揮する「エコフィール」は、灯油の使用量も抑えられ、年間約7,870円もお得です。



※計算条件(一例)今お使いになられている石油給湯器(熱効率83%)と比べた場合。
(※1)給湯使用条件(4人家族想定、入水温度は通年で18℃)
・ふろお湯はり:200ℓ×42℃ ・シャワー:12ℓ/分×5分/人×4人=240ℓ×40℃
・洗面:6ℓ/分×2分/人×4人=48ℓ×40℃
・台所:8ℓ/分×3分/回×3回=72ℓ×37℃
※灯油流通価格99.6円/ℓ
(石油情報センター民生用灯油価格宮城県2014年度平均)で算出

排熱を利用して効率良く、パワーを発揮するため、灯油の使用量も抑えることができます。

1年間で
約79ℓの節約!

CO₂の排出を約13%削減!

「エコフィール」は、年間で約197kgのCO₂排出量を削減。杉の木なら約14本分のCO₂削減効果があります。

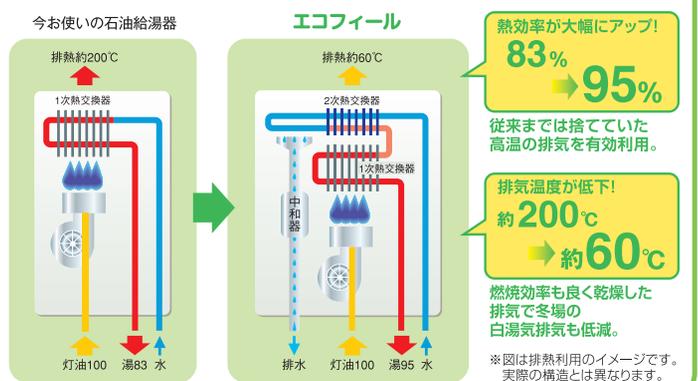


※給湯使用条件は上記(※1)と同じ
※杉の木1本あたりのCO₂吸収量は、1年で平均して約14kgとしています(「地球温暖化防止のための緑の吸収源対策」環境省/林野庁より試算)
※CO₂排出係数/灯油(石油市場平均): 2.49kg-CO₂/ℓ
出典元「事業者からの温室効果ガス排出量算定方法ガイドライン」環境省 H17年度

杉の木なら
1年間で
約14本分の
CO₂削減効果
1年間で
197kg
- CO₂
削減!

排熱を再利用する新しい熱交換器を採用!

従来は排気とともに空気中に放出していた熱エネルギーを再利用する、新しいタイプの熱交換器を採用することで、熱効率を95%にまで高めました。熱効率が高くなることにより、使用する灯油も大幅に削減され、節約につながります。



もっと詳しく
知りたい方は!

灯油でもっと! エコ&省エネ
ほかほかアカデミー
<http://www.ecofeel.jp>

もっと知ろうよ
エコフィール

キャンペーンやエコ情報満載のホームページ!
省エネのお得な知識やユーザーの声がいっぱい!